

下北ジオパーク研究補助金 応募要項（平成30年度）

◆補助の趣旨

下北半島には、付加体の大地、日本海拡大期の海底火山の大地、第四紀火山群、堆積平野と、日本を構成する地質要素が集結しています。半島を囲む陸奥湾、津軽海峡、太平洋はそれぞれ性質が異なるとともに、津軽海峡の海流は冬季の強い季節風と共に海岸を浸食し特異な海岸地形を作っています。対馬海峡から津軽海峡を通して太平洋への流れは日本海の各地をつなぐ近世の海運をもたらしました。この大地と海を土台に育まれた動植物の生態系や、文化・信仰とその歴史など下北ならではの営みのもと、人々は生活しています。多様な自然要素を活用する住民の活動が高評価を得て、2016年9月に下北は大地と生態系と人々のつながりを学び楽しむ「ジオパーク」に認定されました。

多様なジオ資源に恵まれた地域である一方、研究がまだ十分に進展していない分野・地域が残っています。本補助金は、専門的知識を持った学生や研究者等の学術研究を支援し、基礎的学術資料の蓄積を図るとともに、地域に在住する生徒が地域への関心を抱くために実施する調査・研究活動を奨励することを目的に助成を行います。

◆補助の対象

◎補助の対象となる研究分野及び応募の資格は次のとおりです。

1. 補助対象研究

下北ジオパークに係る地域資源の研究や、その保全についての研究、または資源を活かした地域社会の活性化に資する調査研究で、下北ジオパークを構成する5市町村（以下「下北管内」という。）を対象としたあらゆる分野の調査・研究を対象とします。

2. 補助対象者

- (1) 大学等の研究機関
- (2) 大学に在籍する学生、大学院生
- (3) 大学や研究機関等に所属する教員、研究員
- (4) ジオパークに関心のある研究者、自然愛好者の団体等
- (5) 下北管内の小・中・高等学校及び在籍する児童又は生徒が中心となって行う研究について管理責任を担う教員
- (6) 下北管内のボーイスカウト、子供会等の団体
- (7) その他会長が認めた者及び団体

◆補助金の額等

1. 補助金上限額及び補助率

補助上限額：20万円、補助率：定額補助（10／10）

2. 補助対象経費

- (1) 所属先の所在地から下北管内の滞在先までの交通費および下北滞在中の宿泊費
- (2) 下北管内での移動や調査に必要な車両、船舶等の借上料の実費

- (3) 調査研究に用いる消耗品等（事務経費、郵券料等を含む）
- (4) 現地ガイドを要請した場合のガイド費
- (5) 特殊分析等専門業者などに委託する経費
- (6) その他調査研究活動に関する経費として会長が必要と認める経費

※ ただし、下北地域外での宿泊費、申請者や研究室等のアルバイトへの人件費、菓子折りなどの謝礼品、備品や燃料費（車両等借上料に含まれない燃料費）は補助対象経費に含まれません。

◆研究期間

◎交付決定日から平成31年3月20日（水）まで

◆応募の方法

◎次の書類を直接提出するか郵送してください。応募締切は平成30年6月8日（金）【必着】です。

- | | |
|---------------------------------|----|
| (1) 下北ジオパーク研究補助金交付要望書（様式第1号） | 1部 |
| (2) 研究実施計画書（様式第1号の2） ※書式内で収めること | 1部 |
| (3) 研究業績一覧表（様式第1号の3） ※無い場合不要 | 1部 |
| (4) 在学証明書（学生の場合） | 1部 |
| (5) 所属学校長の研究承諾書（様式第1号の4） | 1部 |

（下北管内の小中高校内の団体及び学校内で実施する場合）

◎提出先

〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目8番1号

下北ジオパーク推進協議会事務局（むつ市企画政策部ジオパーク推進課内）

◆採択数

◎3件程度

◆審査

◎下北ジオパーク研究補助金選考委員会による審査を行い、審査結果については6月中に通知します。

◆補助金交付申請

◎決定通知を受けた後、速やかに以下の条件に沿った書類を各一部提出してください。

- (1) 補助金交付申請書（様式第3号）
- (2) 計画に変更がある場合、研究実施計画変更届（様式第3号の2）
ただし、変更の内容が過大であった場合、交付内定を取り消すことがあります。
- (3) 実施できない場合、内定を辞退する場合は交付辞退書（様式第3号の3）

◎研究完了前に補助金の一部を受けようとする場合は補助金概算払申請書（様式第7号）を提出してください。概算払いが認められる金額の上限は、交付決定額の8割の額面（1,000円未満切り捨て）とします。

◆実績報告書等

◎研究が完了後、次の書類とその得られた研究成果をまとめた論文や報告書を印刷したものを1部とCD-Rなどの電子媒体で1部、平成31年3月20日（水）までに提出してください。なお、いただきました報告書等は印刷公表させていただきます。公表の猶予を希望する場合には最長2年間の猶予期間を設けていますので、理由を付して申し出てください。

- | | |
|--|----|
| (1) 研究事業報告書（様式第5号） | 1部 |
| (2) 研究報告書（様式任意） | 1部 |
| (3) 中学生が理解できる文言でA4版1枚にまとめた概要報告書 | 1部 |
| (4) 研究経費収支決算書（様式第5号の2） | 1部 |
| (5) 補助対象経費の領収書又は支払いを証明する書類の写し | 1部 |
| 公共交通機関をご利用の場合は、利用証明となるもの（領収書、半券など）を保管しておいてください。ただし、燃料費（車両等借上料に含まれない燃料費等）は補助金対象外です。 | |
| (6) パネル展示用資料 | 1部 |
| A1サイズにまとめた研究発表用ポスター1枚あるいは成果のイラスト、図、まとめの入った最大8枚の口頭発表用資料（PowerPointなどで作成されたものが望ましい） | |
| (7) 下北ジオパーク研究補助金研究報告書公表猶予願い（様式第8号） | 1部 |
| 猶予を希望する場合に提出。なお、猶予の必要性があると協議会が認めた場合のみ猶予する。 | |
| (8) 上記以外で協議会が必要とし、補助金研究者が承諾した資料等 | |

◆補助金の支払い

◎原則として、要綱が示す研究期間後に研究事業報告書と研究報告書をもとに審査を行い、補助金の額を確定し支払います。事前に補助金の一部が支払われている場合は、確定した額と補助金の額との精算を行います。

◆研究課題例

- －下北の地質や地史、岩石の組成と年代、火山噴火史（恐山火山、薬研、野平、於法岳、畑）
- －太平洋のプレート間地震に伴う津波が与えた猿ヶ森砂丘地域への影響
- －地形や気候、海流、生物、産業、文化にまたがるジオパーク的学際研究
- －下北に継承される北前船に由来する文化
- －縄文以降における田名部平野の地形変遷と土地利用や生活形態の変遷
- －下北ジオパーク来訪者の行動や満足度
- －（小中学生の研究例）猿ヶ森砂丘に分布する鳴き砂の良い鳴かせ方と組成
- －（小中学生の研究例）身の回りの地形と生き物と地域に伝わる献立 など

◆調査研究等に関する留意点

1. 交付決定を受け、下北管内で調査研究を実施する場合には調査開始、終了時に当該市町村の担

当部署へご連絡ください。直接申告が困難な場合は事務局までご相談ください。

2. 調査研究成果等提出いただいた資料については、下記等により利用させていただく場合がございます。

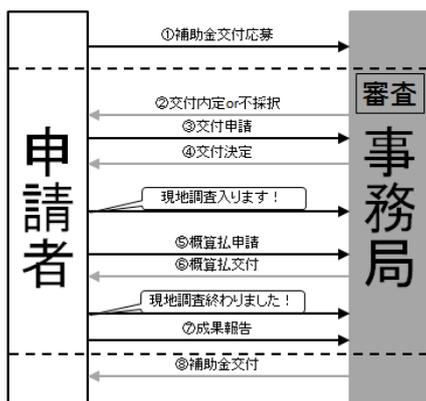
- (1) 概要報告書の協議会季刊紙または下北ジオパークホームページ等への掲載
- (2) 拠点施設等でのパネル展示
- (3) 講演会・学習発表会等における発表、展示

3. 調査内容について学会等での論文・口頭発表等を行う場合には補助金によって行った研究であることを記載のうえ、事務局に報告してください。

◆下北ジオパーク推進協議会 市町村連絡先（協議会事務局：むつ市）

- | | | | |
|-------|----------|--------------------|--------------|
| ・むつ市 | ジオパーク推進課 | むつ市中央 1-8-1 | 0175-22-1111 |
| ・大間町 | 企画経営課 | 大間町大字大間字大間 104 | 0175-37-2111 |
| ・東通村 | 経営企画課 | 東通村大字砂子又字沢内 5-34 | 0175-27-2111 |
| ・風間浦村 | 総務課 | 風間浦村大字易国間字大川目 28-5 | 0175-35-2111 |
| ・佐井村 | 総合戦略課 | 佐井村大字佐井字糠森 20 | 0175-38-2111 |

その他不明の点がありましたら、事務局までお問い合わせください。



申請・交付の流れ

問い合わせ先

〒035-8686 青森県むつ市中央 1-8-1

下北ジオパーク推進協議会事務局

(むつ市企画政策部ジオパーク推進課内)

TEL : 0175-22-1111

FAX : 0175-23-4108

E-mail : geopark@city.mutsu.lg.jp